



申12号

7月2日、申し入れを行う！ その1

## 「新幹線の乗務員基地再編の概要について」に関する説明申し入れ

本部は、5月26日「新幹線における乗務員基地再編の概要」について提案を受けました。提案内容は、新幹線業務に特化する乗務員職場に見直すことで安全・サービス品質のレベルアップを図るとともに輸送の安定性の維持、および効率的な業務体制の実現を目的に東京駅近傍に東京新幹線運輸区(仮称)を新設し、上野新幹線第二運転所の廃止、東京支社・丸の内車掌区が担当している新幹線業務を東京新幹線運輸区(仮称)の発足に合わせて、新幹線統括本部に移管するというものです。

提案では実施時期を、2021年3月予定とし、具体的実施時期は決定次第連絡するとなっています。しかし、東京新幹線運輸区(仮称)の新設に向けた工事は着手しており、要員規模等の考えに基づいて行われていることは明らかです。会社は運転士・車掌の要員体制や行路数、職場規模、職場レイアウトなどについては現在も一切示さずに検討中を繰り返すにとどまっています。組合に対して意図的に実施内容を伏せての提案は容認することはできません。

職場では、会社説明等に対する不満が噴出し、運輸区新設に伴う異動や安全教育体制等に対する不安が渦巻いています。概要提案といえ、具体的内容を示されなければ労使協議を行うことはできません。業務改革・生産性の向上ばかりに目を取られ、安全を担う人間への投資や活躍できるフィールドをつくることを怠れば、鉄道の安全は確立できません。人間労働・経験労働を重視し「鉄道安全と労働安全」の両輪を実現していくためには、様々な現実と直面しながら奮起し続ける社員の意見を大切にする「現場第一主義」の企業風土をいま一度創り上げることが重要です。

組合員・社員の不満・不安の解消を図り、安全で安心した労働環境を実現し、更なる新幹線部門の安全とサービスレベルの向上につなげ、利用者からの信頼と安心をつくり出していくために本部は現場の声をもとに団体交渉に臨みます！

MAIL NEWS 2020.5.26 No. 121

5月26日 新幹線における乗務員基地再編 「東京新幹線運輸区」(仮称)の概況について提案を受ける！

実施内容  
・新幹線職場について、新幹線業務に特化する職場に見直し、安全・サービス品質のレベルアップを図るとともに輸送の安定性の維持及び、効率的な業務体制の実現を目的に東京駅近傍に「東京新幹線運輸区(仮称)」を新設する。  
設置場所：東京駅日本橋口付近(N-CTCビル内)  
実施時期：2021年3月

概要  
運転士：上野新幹線第二運転所を廃止 → 東京新幹線運輸区(仮称)  
車掌：丸の内車掌区担当・新幹線車掌業務 → 新幹線統括本部に移管

乗務員基地設置箇所

○廃止  
東京 上野 丸の内車掌区(東京支社) 長野新幹線 山形 山梨 静岡 長野 新潟 北陸 東海 西日本 九州

○発足  
東京 上野 丸の内車掌区(東京支社) 長野新幹線 山形 山梨 静岡 長野 新潟 北陸 東海 西日本 九州

～会社との主なやり取り～  
組合：提案については概況のみの提案であり、要員数がなく職場の規模がわからない。直ちに要員について提案すること！  
会社：規模については基本的な考えとして250名程度である。  
要員については時期を決めて別途提案する。  
組合：提案内容に「輸送サービススタッフ」として業務運営(ソフト面)の準備を進めていく」とあるが具体的には何か。  
会社：乗務員のみならず委員会をはじめ、様々な視点でのレベルアップを図り、人材育成を行う。  
組合：鉄道安全と労働安全の両輪を実現できる施策とすること。  
会社：安全・サービス品質の向上を図り、社員の成長・健康維持についてもしっかりと実現が出来るように努める。

安全を大前提とし、健康・ゆとり・働きがいのある職場をつくりだすために、組合員の声を集約し申し入れへと繋げていきます！

申し入れ項目はその2へ続く